

ゆうこう便り

発行:北口雄幸事務所
士別市東7条9丁目
Tel0165-22-3100
fax0165-23-4356

ふるさと 郷土の思い受け

無投票で四期目当選。決意新たに！

早まった告示日

北海道議会議員選挙の告示は3月29日。今年は、天皇陛下の退位と重なり、統一地方選挙の日程が1週間早まりました。

道議選の届出は、上川総合振興局で行われたことから、第一声を当麻町の農協前で行い、福井組合長から激励のご挨拶をいただきました。その後、愛別町、比布

吹雪の第一声

町、和寒町、剣淵町でそれぞれ街頭から政策や思いを訴えました。

士別市での第一声は、それまでの天気とは打って変わ

り激しい吹雪に見舞われ、雪の中の第一声となりました。そのようなお天気であっても、300人近くの皆さんがお越しいただき、牧野勇司士別市長からは「何としても北口道議の再選を」と、訴えていただきました。そして北口雄幸候補からは、この地域に住み続

けるための医療や介護、福祉の充実とこの地域の基幹産業である農業の振興についてお話しされ、「ぜひ、石川知事を誕生させていただき、石川知事を支える役割を果たしたい」との決意が述べられました。

小規模農家を守る

士別市の次は、昼食休憩も取らず、幌加内町、美深町、下川町に向かいました。

午後5時過ぎ、日中の遊説を終えて事務所に戻ると、3名の定数内立候補であることの報告を受け、無投票で「4期目の当選」が確定しました。

午後6時から創成会館で行われた報告集会では、牧野勇司士別市長をはじめ多くの皆さんが祝福に駆けつけていただき、ダルマに「V4」を入れ、勝利を喜び合いました。

4期目の当選を決めた北口道議は、「選挙がなかった重みをしっかり受けとめ、この地域の発展に努力して

いく」と、決意を新たにされました。



全力で課題解決

先の北海道議会議員選挙では、皆様の大きなご支援を得て、無投票ではありましたが、四期目の議席を与えていただき、心からお礼申し上げます。

いま北海道は、人口減少問題、JR路線維持、1Rへの対応、農家戸数の減少、地域医療の確保、エネルギー問題など、大変重要な課題が山積しております。今後とも皆様のご意見を伺いながら、全力で課題解決に取り組んでいく決意です。

北海道議会議員 北口雄幸

雪の中で農業振興や人口減少課題を訴える(士別市での第一声)

第一回定例道議会報告(2月15日~3月6日)

何も語らず知事退場

第一回定例道議会は、統一自治体選挙を前にし、私たちや知事にとって、任期最終の定例会でありました。高橋知事は、4期16年で道政トップを退き、今後は国政に転じる意向を示してい

ますが、今定例会でも自らの言葉で語ることなく知事の座を去ろうとしています。安倍政権の乱暴な政策運営を丸呑みにし、自治体や道民に丸投げするばかりの知事の道政運営が、地域を苦境に追い込んできています。知事は、就任以来、財政



予算特別委員会での質問(2月28日)

再建や支庁改革、人口減少対策等を次々に道政テーマに掲げてきましたが、いずれも成果はあげられず、道内人口は16年前と比べ37万人も減少、約530万人となりました。暮らしを支える基盤である医療では医師や看護師等の減少・偏在が進み、教育でも小中学校の統廃合が続

きました。

道政は課題山積

JR北海道の維持困難路線への対応経費は新年度予算に計上されませんでした。そもそも、国が支援策を示さなかったことから、市町村は検討すらできないのです。加えて、道がリーダーシップを発揮しなければ事態は動かず、地域が追い込まれていくばかりです。私たちは、早急に今後の方向性を求めましたが、知事の反応は極めて鈍いものでした。また、カジノを軸とするIRの誘致については、この間、自身の判断をあいまいにしながら、誘致方向としか思えない作業が進められてきましたが、今定例会中に知事としての誘致判断が突然、打ち出されました。しかし、道の検討は、政府の方針と同様に、経済効果や雇用効果ばかりを強調し、ギャンブル依存症対策や環境保全等の課題の対応は形

ばかりで、道の説明手法や道民意見の聴取のあり方は極めて不十分なままです。

外国人材の受け入れ拡大は、改正入管法の施行が4月1日に迫っていたにもかかわらず、受入環境整備の具体像は一向に見えていません。外国人材の受け入れは、人手不足が深刻な道内でも強い期待があり、それだけに労働環境の確保や受入環境の整備をしっかりと進める必要があります。それに失敗すれば、外国人材に敬遠されることにつながりかねないのです。昨年秋季に急浮上し、国の検討はいまだに不十分にもかかわらず、知事は、国の指示待ち、具体的な対応は自治体まかせの対応で、道が率先して課題の解決に取り組む姿勢は見えてませんでした。

多くの課題が未解決のままです、次の知事に託されることになりました。こうした課題についても、統一自治体選挙で道民とともに議論が進められることになりました。

予特で地域課題を質問

北口道議は、予算特別委員会において、1. 収入保険制度、2. 国際貿易協定、3. 小規模農家を守る施策(以上、農政部)、4. 人口減少問題(総合政策部)、などについて知事の考えを質してきました。

議決された主な条例

- ▼北海道主要農作物等の種子の生産に関する条例
- ▼北海道立北の森づくり専門学院条例
- ▼北海道森林整備等支援基金条例

採択された意見書

- 精神障がい者も含めた医療制度の創設を求める意見書
- 「水産政策の改革」における本道の実情を反映した対応を求める意見書

写真で振り返る北口道議の活動記録(1月~3月)



占冠消防出初式で挨拶(1月5日)



恒例となっている新春街宣(1月2日)



士別市消防出初式で挨拶(1月6日)



北海道林業人新年交礼会(1月8日)



士別市成人式で挨拶(1月13日)



連合北海道上川地協旗開き(1月9日)



美瑛町農民連盟定期総会で挨拶(3月2日)



金児義明氏旭日双光章叙勲祝賀会(1月20日)



士別市農業奨励賞授賞式(3月18日)



中士別地区土地改良事業期成会からの要請(2月28日)

北口ゆうこう道日記

http://y-kiaguichin.net/

北口道議の奮闘ぶりをブログから抜粋して紹介します。(1月~3月分)

◆1月7日【TMRでの移動&出初式&連合旗開き】

▼土別駅6時13分始発の列車に飛び乗り、旭川経由で富良野市へ▼富良野市では、富良野消防出初式に出席し、



富良野消防出初式で挨拶

今年一年が平穏な年になるようご挨拶させていただいた▼そして富良野駅12時53分発の列車に乗り、滝川経由で札幌に向かう。札幌では、連合北海道(出村良平

会長)の新年交礼会に参加したところだ。

◆1月28日【水産林務委員会-随時調査】



随時調査で渡島漁協と意見交換

務委員会の随時調査で、長万部町を訪問。渡島漁協の皆様と噴火湾におけるホタテ稚貝が大量死したことに對し、その実態と対策に對する意見交換をさせていただいた▼道産ホタテは、道産品の輸出戦略の柱であり、噴火湾ホタテは道内の2割を生産していることから、その稚貝が8割から9割も大量死する実態に驚くばかりだ。まずは、漁業が続けられる支援をしっかりと行い、大量死の原因を早急に突き止めなければならず、

漁協と試験研究機関との連携など、対策を求めていかなければならないと感じたところだ。

◆2月11日【食とまちフォーラム】

▼『見直そう！食とまちフォーラムinしべつ』「地産地消の共生」15「」に参加▼このイベントは、土別市農業経営確立対策協議会(会長：榎本實男J.A北ひびき代表理事専務)が主催し、食を通じてまちづくりや地域づくりを考えるものだ▼冒頭、榎本実行委員長が挨拶。来賓を代表して牧野市長が祝辞を述べ、土別農民連盟の沼館初男委員長が「迫る食料危機」と題して世界の食糧事情を報告。そ



榎本実行委員長を囲む牧野市長と私

の後の講演会では、自身が骨形成不全症の障がいを抱える五十嵐真幸氏から、障がい者と共に暮らす街づくりにについてお話を伺い、待ちに待った試食会。土別市内で収穫された食材で、おいしいお料理を提供いただき、大満足の一日であった。

◆3月19日【TMR圧縮梱包施設-完成式】

▼有限会社ディリーサポート土別(北口久社長)の「TMR圧縮梱包施設」の竣工式に出席。ディリーサポート土別は、2001年11月20日に設立され、2003から約1100頭の乳牛にTMRの供給を開始。以来、約15年以上にわたって酪農家に対しTMRを供給してきたが、



TMR圧縮梱包施設を増築

効率的な供給体制と機械の老朽化への対応などから、TMR圧縮梱包施設を増築

することに。この増築された施設により、TMRの生産体制は格段に向上し、平日に増産することにより、日曜日を休むいわゆる働き方改革にも貢献できるものとなったところだ。

【4月7日】

▼4月7日に執行された知事選挙は、16年ぶりの新人同士の選挙となったが、前々張市長の鈴木直道氏が新知事に就任した▼選挙期間中の鈴木氏は、本道が抱えるさまざまな課題に對し、「道民目線で判断すること、明確な考えを示さないまま、知名度に頼った選挙を行った▼一方、元衆議院議員の石川知裕氏は、JRやIR、原発への対応など、明確な政策を示したものの、立候補が遅れたこともあって、道民の支持を得るには至らなかった▼今後、

道議会では、鈴木新知事の考えや方針を明らかにしなければならず、「道民目線」の尺度がどの程度なのか、しっかりとした議論をしていく決意だ。(ゆうこう)